四国大会実施規定

　　　　　　　　　　　　　（四国軟式野球連盟）　　　　　　少年・学童部

１．正式試合について

　①試合の回数は７回戦とする。

　②正式試合となる回数を５回とする。

　③５回以降７点差以上になった場合は、コールドゲームを適用する。

　④５回以前に暗黒、降雨等試合が継続不可能となった場合は、翌日または後日、特別継続試合を

　　行う。

２．延長戦について

　①７回を完了して同点の場合は、８回より勝敗が決するまでタイブレークを行う。

　②試合開始後、２時間３０分を経過した場合は、新しいイニングには入らずタイブレークとする。

　　※タイブレークとは

　　　継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、二塁の走者は順次、前の打者として無死一、二

　　　塁の状態にして１イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。

　　　勝敗が決しない場合は、引き続きタイブレークを行う。

３．投手の投球制限

　[少年部]

⓵投手の投球制限については、健康維持を考慮して１日１００球以内とする。

②投球中１００球に達した場合は、当該打者の打席完了または攻守交代まで投球できる。

　[学童部]

1. 学童大会においては、投手が同一日に投球できる投球数を７０球以内に制限する。

　　但し、小学４年生以下の投手は同一日に投球できる投球数を６０球以内とする。

1. 投球中に７０球または６０球に達した場合は、当該打者の打席完了または攻守交代まで投球

できる。

４．その他

　①日没、天候等諸問題がある場合は、大会本部役員並びに審判員等により運営方法について協議

　　し、対応方法を決定する。

　②本規定に定めのない事項については、全日本軟式野球連盟競技者必携に順ずるものとする。